

令和 6 年度(後期)北海道紋別高等養護学校評価について (分析と考察)

1 実施方法について

前期に実施。職員・生徒・保護者に向けて、全て Google フォームからの回答としている。

2 評価期間について

保護者アンケートは 12 月 24 日(火)配付、締切を 12 月 27 日(金)までとしていたが、回収率が低いため、メールにて知らせ、期間を 1 月 17 日(金)まで延期している。教職員は、同じく 12 月 24 日(火)配付、締切を 12 月 27 日(金)までとした。生徒アンケートは 1 月 14 日(火)配付、1 月 17 日(金)までに実施としている。

2 回収率について

(1) 保護者アンケート

保護者 70 名中 23 名(全体の 33%)の回答率となっている。前期の回答率は、70 件中 34 件(49%)であった。なお、回答者 23 名中 21 名が寄宿舎生の保護者となっている。また、1 学年 10 名。2 学年 6 名。3 学年 7 名の回答となっている。紙面配付の要望や、QR コードでの実施について苦情は聞かれていない。

(2) 職員アンケート

78 名の回答(回収率 100%)。全員 Google フォームで回答。

(3) 生徒アンケート

65 名の回答(回収率 93%)。学年別では、1 学年 25 人(回収率 93%)、2 学年 18 人(同 90%)、3 学年 22 人(同 100%)。

保護者アンケート結果の分析と考察

◎保護者全員を対象とした「質問 1～17 (23 名回答)」と寄宿舎生の保護者への「質問 19～25 (21 名回答)」とに分けて考察する。

1 質問 1～17 (保護者全員) の評価について (前期と比較して、◎：向上 ○：変わらず △：低下)

「質問 1～17」で、「よくあてはまる」「あてはまる」を合わせた評価が、90% (21 名) 以上の項目。

- ◎ 5. 学校の個別の教育支援計画や個別の指導計画は、子どもの実態や課題を保護者と共通理解のもと目標を立て、学習の成果や成長の様子を分かりやすく書いている。(95.6%)
- 7. 学校だより、学級通信、ホームページなどを充実しており、積極的に学校の様子を知ることができる。(95.7%)
- 8. 学校は、子どもや保護者が見通しをもって進路選択ができるよう、十分な情報を提供しながら進路指導を行っている。(91.3%)
- 13. 教職員 (寄宿舎職員は除く) は、職務にふさわしい服装や身だしなみである。また、丁寧な言葉遣いや態度である。(91.3%)
- 14. 学校は、保護者や地域住民が授業や学校行事を参観する機会を、工夫しながら設けている。(100%)
- ◎ 15. P T A 活動は、保護者と教職員が協力して工夫した活動が行われている。(95.6%)
- ◎ 17. 学校から配付される文書や安心メールの配信は内容の分かりやすさや頻度は適切である。(91.3%)

「質問 1～17」で、「よくあてはまる」「あてはまる」を合わせた評価が、80% (18 名) 以上の項目。

- 1. 子どもは働く力が身に付いている。(82.6%)
- 6. 学校の教職員 (寄宿舎職員は除く) は、生徒理解に努めて信頼関係を築いている。(86.9%)
- △ 11. 学校の教職員 (寄宿舎職員は除く) は、子どもの健康や指導上の問題が生じた場合など、保護者に必要な情報を素早く伝え、連携して指導している。(87%)
- △ 16. 学校と寄宿舎は、感染症予防や熱中症予防などに対して適切に対応している。(82.6%)

「質問 1～17」で、「よくあてはまる」「あてはまる」を合わせた評価が、70% (16 名) 以上の項目。

- △ 2. 子どもは、心豊かにたくましく育ってきている。(78.2%)
- 4. 子どもは、他者の気持ちを考え思いやりのある行動をとることができるようになってきている。(78.3%)
- 9. 「学校いじめ防止基本方針」を文書や本校ホームページ等で目にしたことがある。(73.9%)
- △ 12. 学校と寄宿舎は、子どもの情報を保護者と共有し、連携した生徒指導や生活指導をしている。(73.9%)

「質問1～17」で、「よくあてはまる」「あてはまる」を合わせた評価が、60%（14名）以上の項目。
○3. 子どもは、様々のことに興味をもち、自ら学ぼうとする力が身に付いてきている。(60.9%) △10. 学校と寄宿舎は、いじめの未然防止解決に努める等、保護者と情報を共有し、適切に生徒指導や生活指導を行っている。(65.2%)

分析と考察
① 「よくあてはまる」「あてはまる」を合わせた評価が、90%以上の項目においては、「5」「15」「17」が、後期、評価が向上している。反面、「11」「16」の評価が、80%台に低下した。 ② 前期80%以上だった項目において、「2」「12」の評価が、70%台に低下した。 ③ 前期に70%以上だった項目において、「10」の評価が、60%台に低下した。 ④ 前期に60%以上だった項目において、「3」の評価は変わらなかった。 回答者数が少ないので傾向として捉えることとするが、評価が向上した「5」「15」「17」からは、個別の支援計画や指導計画から分かりやすく子供の成長を伝えられていることや、学校祭等の学校行事へのPTAの参加や協力が増えたことで活動への理解が深まったこと、配布文書や安心メール等を通して必要な情報が適切に届いていることを評価していただくことができた。しかし、評価の下がった「11」「12」については、生徒の健康や指導上の問題が発生したときに、保護者は教職員に納得のいく説明や適切な対応をより求めていると考える。また、60%台に下がった「10」からは、自由記述にもある「1年生とのトラブル」「暴言を言う生徒の指導」といった生徒同士の関係性への不安があり、学校と寄宿舎双方に、いじめや暴力につながるような状況を生徒指導や生活指導を徹底し未然防止に努めてほしいという思いがあると考えます。
改善点
生徒が学校で安心、安全に生活できるように ① 今後も生徒の成長の様子や評価を保護者と積極的かつ丁寧に共有していく。生徒指導に関わっては、学舎で方針や手立てを必ず共有し、一貫した指導を心掛ける。そのためにも、学舎で顔の見える対話の機会を積極的につくるなど、片方のみで対応を完結せずに組織として取り組む。特に寄宿舎には、生活指導において卒業後を意識した一段高いレベルの指導を、生徒個々の実態を十分に踏まえると同時に、本人、保護者と確認の上で行っていく。 ② いじめに結び付きそうな案件が発生した場合に、これまで以上に生徒一人一人への丁寧な聞き取りや説明、対応策を組織的に講じ、保護者への説明責任も果たしていく。また、常に生徒同士の関係や動向に目を光らせ、予防的な指導に主軸を置いて真摯に取り組んでいく。 ③ これまで以上に生徒の主体性を育む教育活動を充実していくと同時に、生徒の丁寧なアセスメントに基づく課題や手立てを設定し、保護者がその成長を実感できるように評価を説明していく。

2 質問 19～25（寄宿舎生の保護者）の評価について

「質問 19～25」で、「よくあてはまる」「あてはまる」を合わせた評価が、90%（19 名）以上の項目。
19. 子どもは、基本的生活習慣や身辺処理が身に付いてきている。(95.3%) 21. 寄宿舎職員（学校職員は除く）は、子どもの健康や指導上の問題が生じた場合など、保護者に必要な情報を素早く伝え、連携して指導している。(90.5%) 23. 寄宿舎の個別の指導計画は、子どもの実態や課題を踏まえ、保護者と共通理解のもと学習の成果や成長の様子が分かりやすく書かれている。(90.5%) 24. 寄宿舎職員（学校職員は除く）は、職務にふさわしい服装や身だしなみである。また、丁寧な言葉遣いや態度である。(95.2%) 25. 寄宿舎は、子どもの健康安全のための環境整備や取組に十分に努めている。(95.3%)

「質問 19～25」で、「よくあてはまる」「あてはまる」を合わせた評価が、70%（15 名）以上の項目。
20. 寄宿舎職員（学校職員は除く）は、生徒理解に努めて信頼関係を築いている。(76.2%)

「質問 19～25」で、「よくあてはまる」「あてはまる」を合わせた評価が、50%（11 名）以上の項目。
22. 寄宿舎(学校を除く)は、いじめや暴力がなく、子どもは安心して過ごすことができている。(57.1%)

分析と考察
① 「よくあてはまる」「あてはまる」を合わせた評価が、90%以上の項目については、生徒たちに基本的生活習慣や身辺処理が身に付いてきていると実感する保護者が多かった。また、寄宿舎と保護者との間で生徒の健康や指導上の情報（課題や成果、様子など）が共有されていると評価していただいている。しかし、自由記述にあるように一部の保護者からは、情報共有の改善を求める声もある。 ② 「20. 寄宿舎職員（学校職員は除く）は、生徒理解に努めて信頼関係を築いている。」について、職員の生徒理解と信頼関係構築について「あまりあてはまらない」と 23.8%の保護者が回答している。 ③ 「22. 寄宿舎(学校を除く)は、いじめや暴力がなく、子どもは安心して過ごすことができている。」について、前期の 80.7%から 57.1%と評価が下がっている。
改善点
生徒が寄宿舎で安心、安全に生活できるように ① 生活指導や生徒指導の方法やルールの遵守など、職員間で対応に差が見られることが、生徒に様々な混乱を与えていると考えられる。職員の対応スキルの向上と連携を高めるための研修等を実施し、組織として対応力を高めていく。 ② また、自由記述に見られた「暴言を言う生徒」たちへ他者の尊重と理解を深めていくため、個別指導はもとより集団指導を計画的に行っていくことや、いじめや暴力につながる恐れのある生徒同士の言動を絶対に見逃さないという職員の意識向上に取り組み、未然防止を行っていく。そして、生徒一人一人が人権を侵害されることなく安心して生活できる寄宿舎運営を行っていく。

3 学校への意見・要望について（自由記述）

保護者からの意見・要望は全部で5件あり、感謝の意見1件と要望の意見4件だった。

26. 学校や寄宿舎へのご意見やご要望があれば、お書きください。（自由記述）5 件の回答

- ① 安心、安全に生活できるよう努めて下さい。
- ② 学校と寄宿舎担任で情報を共有してほしい。お互いに知らない事が多い。
- ③ 本人及びその他の寄宿舎生について、今年度における一年生とのトラブルが多く、関係が難しいと伺っております。残りの寄宿舎生活に支障が出ないよう、ご配慮をお願いいたします。
- ④ いろんな子がいるのはわかりますが、暴言を言う子がいるそうです。冗談にせよ、息子は傷ついている時が多々あります。その辺の指導は、どうなっていますか？
- ⑤ いつもお世話になっております。紋高養の先生方、寄宿舎の先生方にはいつも手厚いご指導をしていただき、大変ありがたく思っております。こちらの学校に入学してから、子供もとても成長しました。もうあと二ヶ月程で卒業ですが、もう卒業かと思うと寂しい思いでいます。まだ、こちらの学校に通わせてたくさん楽しい思い出を作ってあげたかったなと思いますが、そういうわけにもいきませんね。

職員アンケート結果の分析と考察

1 教職員のみの回答（前期と比較して、◎：向上 ○：変わらず △：低下）

（１）「教職員のみ」の回答項目の中で、「よくあてはまる」「あてはまる」を合わせた評価が、90%（53名）以上の項目。

○４．学習指導（各教科）：生活に結び付いた知識、技能、学びに向かう力などを身に付けることができる学習内容となっている。（93.2%）

○５．学習指導（作業学習）：生徒一人ひとりの能力や適性を的確に把握し、将来の職業生活や社会自立に必要な知識、技能、態度について総合的に指導を行い、生徒の働く力を高める内容となっている。（91.5%）

○７．学習指導（指導内容・方法）：生徒一人一人の障害の状態や特性に応じて学習内容や指導方法を工夫し、生徒が見通しと意欲をもち、分かる指導（授業）を行っている。（96.6%）

◎10．進路指導：生徒や保護者が見通しをもって進路選択ができるよう情報提供しながら進路指導を行っている。（96.6%）

○11．センター的機能：教育相談や地域の学校等への支援など、特別支援教育のセンター的機能を果たしている。（93.2%）

（２）「教職員のみ」の回答項目の中で、「よくあてはまる」「あてはまる」を合わせた評価が、80%（47名）以上の項目。

◎３．授業時数：各教科、作業学習（職業）、道徳、特別活動（HR活動、生徒会活動、学校行事）、自立活動（自立生活）及び総合的な探究の時間の年間授業時数は適切である。（88.1%）

△６．学習指導（情報教育）：生徒が、ICT（情報通信技術）を活用した社会を生き抜くことができるように、情報教育、情報モラル教育に適切に取り組んでいる。（88.1%）

○８．総合的な探究の時間：生徒が自己の在り方や生き方について考え、働くことや卒業後の生活に向けて、自ら学び、考え、主体的に判断して行動しようとする資質や態度の育成が図られる内容となっている。（88.2%）

△９．個別の教育支援計画：保護者や関係機関との連携を行いながら、生徒の卒業後の姿を見据えた支援計画を作成している。（89.8%）

2 教職員と寄宿舎指導員の回答（前期と比較して、◎：向上 ○：変わらず △：低下）

（1）「教職員と寄宿舎指導員」の回答項目の中で、「よくあてはまる」「あてはまる」を合わせた評価が、90%（66名）以上の項目。

- 1. 学校経営：学校の教育目標やグランドデザインを踏まえて日常的教育活動を行っている。
(97.3%)
- 2. 教育課程：生徒の障害特性を踏まえ、卒業後の生活（働く生活・地域生活）を見据えた教育課程を編成し指導している。(94.5%)
- 15. 個別の指導計画：生徒一人一人の実態や課題を踏まえて、具体的な指導目標と指導の手立てが設定されている。(91.8%)
- ◎19. 生徒指導：生徒理解と信頼関係の構築に努め、生徒一人一人の良さを生かした指導の工夫を図り、生徒が主体的に判断したり、共感的に理解し合う関係を重視した指導に努めている。(90.4%)
- 22. いじめ対策：「学校いじめ防止基本方針」の内容を理解している。(94.5%)
- 27. 保健管理：生徒の健康把握が日常的に行われ、心身の病気の予防や早期発見に努めるとともに、生徒のストレス対応能力、自己健康管理能力向上のための指導が適切に行われている。(97.2%)

（2）「教職員と寄宿舎指導員」の回答項目の中で、「よくあてはまる」「あてはまる」を合わせた評価が、80%（58名）以上の項目。

- 12. 校内支援：コーディネーターを中心とした校内支援の充実が図られている。(87.7%)
- 13. 特別活動：特別活動（学校行事・HR活動・生徒会活動）や寄宿舎活動（行事・寮友会活動）では、教師の過干渉を避け、生徒が見通しをもち主体的に取り組むことができるように指導している。(83.6%)
- 18. 道徳：道徳の全体計画に基づき、道徳の時間及び教育活動全体を通じて礼儀・マナーを重んじ、社会のルールを守ろうとする態度や、自他の生命を大切に思いやりの心などを育む指導が行われている。(82.2%)
- △23. いじめ対策：いじめの未然防止を図り、生徒の情報共有に努めている。(89.1%)
- △25. 研究・研修：研究の目的や内容・方法が適切であり、教職員の専門性や授業力の向上に結びついている。(84.9%)
- 26. PTA活動：職員及び保護者が連携・協力して行い、充実した活動となっている。(89%)

（3）「教職員と寄宿舎指導員」の回答項目の中で、「よくあてはまる」「あてはまる」を合わせた評価が、70%（51名）以上の項目。

- △14. 指導体制：効率的、効果的な指導体制が組まれるとともに、生徒と向き合う時間や授業準備及びHR事務等の時間が確保されている。(76.7%)
- △16. 学校:通知表・寄宿舎:個別の指導計画評価：学習内容、生徒の様子、指導の手立て及び指導の成果と課題について具体的に保護者に分かりやすく記入されている。(79.5%)

- 17. 交流及び共同学習：地域の人々や高校生と触れ合う交流学習や共同学習及び寄宿舎活動が行われている。(71.2%)
- △20. 生徒指導：学校・寄宿舎・家庭間で、生徒の問題行動等の状況を共有し、適切に対応するための体制が整備され、機能している。(72.6%)
- 21. 生徒指導：地域の実情や時代に応じた、ルールとなっている。(71.2%)
- (4)「教職員と寄宿舎指導員」の回答項目の中で、「よくあてはまる」「あてはまる」を合わせた評価が、60% (44 名) 以上の項目。
- ◎24. 性に関する指導：生徒の障害や発達の状態に応じて、心と体の指導（男女交際や性の指導など）が計画的に行われている。

3 行政職員を含む全職員の回答（前期と比較して、◎：向上 ○：変わらず △：低下）

- (1)「全職員」の回答項目の中で、「よくあてはまる」「あてはまる」を合わせた評価が、90% (70 名) 以上の項目。
- 28. 保健管理：生徒の健康安全のため、コロナウイルスの感染防止に十分に努めている。(93.6%)
- 29. 保護者対応：保護者からの相談や要望に対して、教職員が連携して誠実に対応している。(100%)
- 33. 人権の尊重：生徒の人格を尊重し、適切な言葉遣いや態度で関わっている。(96.2%)
- 34. 服装や身だしなみ：職務にふさわしい服装や身だしなみをしている。(92.3%)
- 35. 服務規律：教育公務員としての自覚を常に持ち、体罰の防止や個人情報保護及び交通違反やハラスメントなどの事故防止に努めている。(97.5%)
- ◎36. 学校事務：施設・設備や財務の適切な管理・執行が行われている。(92.3%)
- (2)「全職員」の回答項目の中で、「よくあてはまる」「あてはまる」を合わせた評価が、80% (62 名) 以上の項目。
- △32. 危機管理：事故、事件、災害に適切に対応できるよう、必要な訓練を行うとともに、非常時における教職員個々の役割が明確で、組織化されている。(89.7%)
- (3)「全職員」の回答項目の中で、「よくあてはまる」「あてはまる」を合わせた評価が、70% (55 名) 以上の項目。
- △30. 諸会議：会議の効率化や業務の能率化を図るとともに、勤務時間を意識して業務を進めている。(73.1%)
- △31. 組織運営：協働的で機能的な組織運営に努め、各部署内及び部署間で適切に業務分担や連携を図り効率的に業務を推進している。(78.2%)

分析・考察と改善点

1. 高い評価を得ている項目

学習指導: 進路指導: センターの機能: 学校経営・教育課程: 個別の指導計画:
生徒指導: いじめ対策: 保健管理: 保健管理: 保護者対応: 人権の尊重:
服装や身だしなみ: 服務規律:

※全体的に、生徒の安全確保、保護者対応、人権尊重、服務規律など、基本的な項目で高い評価を得ています。

2. 改善が見られる項目

- ・ **生徒指導**: 前期と比較して、「生徒理解と信頼関係構築に努め、生徒一人一人の良さを生かした指導の工夫を図り、生徒が主体的に判断したり、共感的に理解し合う関係を重視した指導に努めている。(90.4%)」の項目が向上している。これは、生徒指導の質向上に向けた取り組みが成果を上げていると考えられる。
- ・ **性に関する指導**: 全体的に評価は高くないが、前期と比較して向上しており、生徒の発達段階に応じた性に関する指導が行われている点が評価されていると考えられる。
- ・ **学校事務**: 施設・設備や財務の管理・執行が適切に行われている点で、前期と比較して評価が向上している。

3. 課題となる項目

- ・ **指導体制**: 効率的・効果的な指導体制の構築、特に生徒と向き合う時間の確保や授業準備や事務処理時間の確保など、教職員の働き方改革の一層の取り組みが求められる。
- ・ **個別の指導計画評価**: 学習内容、生徒の様子、指導の手立て、成果と課題などが、保護者にとって分かりやすく記入され、生徒の成長を実感できるように伝えられているか更なる改善意識が求められる。
- ・ **生徒指導**: 生徒一人一人に応じた指導事項の学校・寄宿舍・家庭間での情報共有や連携体制の強化と、育てたい生徒像をイメージした地域の実情や時代に応じたルール作りなどが求められる。
- ・ **いじめ対策**: いじめの未然防止のため、より一層、生徒間トラブルの早期解決や、一貫した生徒指導と組織的な対応の強化が求められる。
- ・ **研究・研修**: 研究の目的や内容・方法の適切性、教職員の専門性向上への効果など、研究・研修の更なる質向上のための取組が求められる。
- ・ **危機管理**: 事故や災害への組織的対応や教職員の役割分担など、想定外をつくらないように、たゆまぬ改善の努力を行っていくことが求められる。
- ・ **諸会議**: 会議日の在り方など、効率的な会議設定を模索していくことが求められる。
- ・ **組織運営**: 協働的な組織運営、部署間の連携、効率的な業務推進などはもちろんのこと、職員の同僚性を高めていくための取組が求められる。

4. 改善の取り組み

- ・ **情報教育**：ICT 機器の活用方法研修、情報モラル教育に関する研修などを実施し、教職員の情報リテラシー向上を図る。
- ・ **個別の指導計画**：作成・評価に関する研修、事例検討会などを実施し、教職員の理解を深め、より効果的な計画作成と評価の実施を促進する。
- ・ **生徒指導・いじめ対策**：生徒指導部（学校）と生活文化部（寄宿舍）がそれぞれ中心となり、生徒指導や生活指導に関わり方針を示し、徹底した指導に取り組む。
- ・ **研究・研修**：今後、教職員一人一人の資質・能力を向上、または充実していくための基礎的・基本的な内容を取り上げ、研修計画に盛り込みながら確実に取り組んでいく。
- ・ **危機管理**：避難訓練実施の在り方やマニュアルの見直し、役割分担の明確化など、職員の緊急時対応能力の向上を一層図る。
- ・ **組織運営**：各部署において、日常的に業務の反省や改善を意識し、部署間での情報共有の強化、業務分担の見直し（平準化）など、より協働的で効率的な運営に取り組むことを目指す。

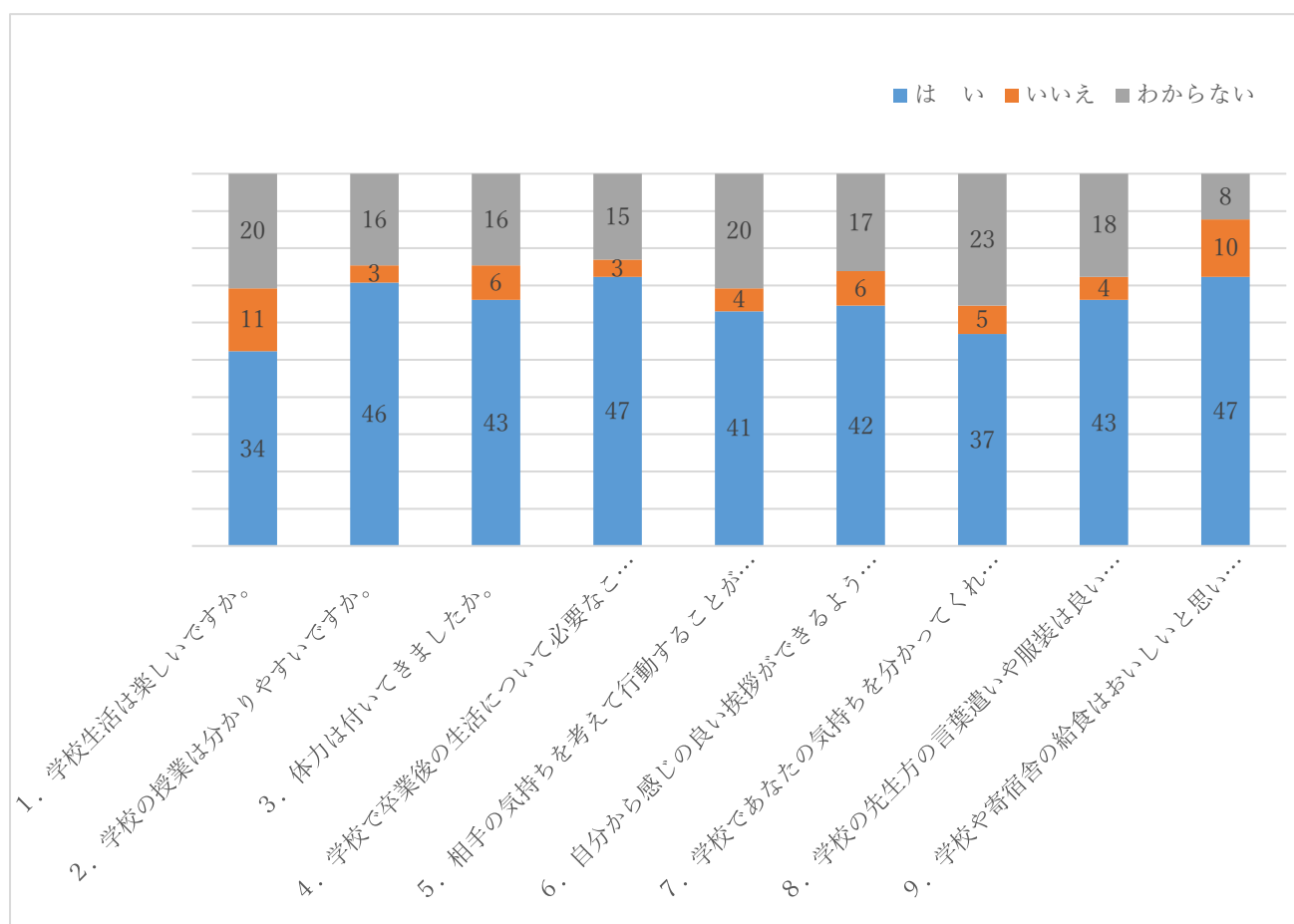
3 学校運営について、提案や改善案（自由記述）

37. 学校運営の改善充実の視点から、各評価項目に関して提案や改善案がありましたら、その内容を具体的に記入してください。6 件の回答

- ① ありません
- ② 28:コロナウイルス独自で感染症対策はもうあまり考えていません。流行期の感染症対策や日頃の健康観察を実施しています。
- ③ 特にありません。いつもありがとうございます。
- ④ 16 個別の指導計画評価についてですが、大前提目標に対してどのような手立てを講じて、どのような成長が見られたかという視点での記入となるかと思うのですが、記述が目標に対しての評価になっていないケースが目立つと感じます。今一度評価の仕方や記入方法を確認しても良いかもしれません。
- ⑤ 24 性に関する教育をタブー視しているように感じる、寄宿舍学校でも、もっとそういったことをオープンにすべきだと思う。
- ⑥ 3 授業時数 学習指導要領の改定や社会人として必要となる力を 3 カ年で育成するために、多様な学び方や、内容を取り入れるなど、教育課程の見直しが必要である。作業学習と職業の棲み分けや、総合の内容工夫・充実、社会科の 3 カ年を通した履修など進めていきたい。

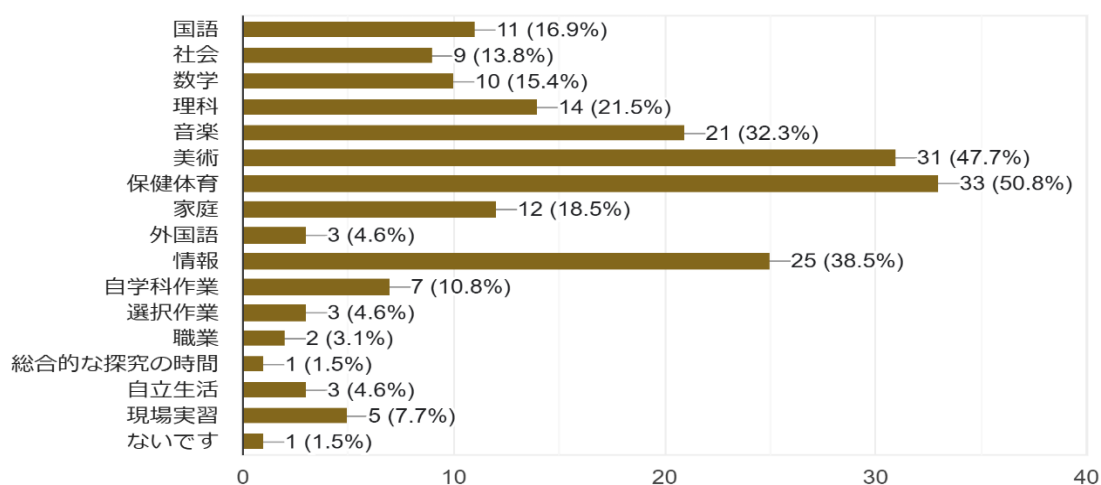
生徒アンケート結果の分析と考察

1 全体の評価について（項目1～9）



10. 好きな授業を3つ選んでください。

65件の回答

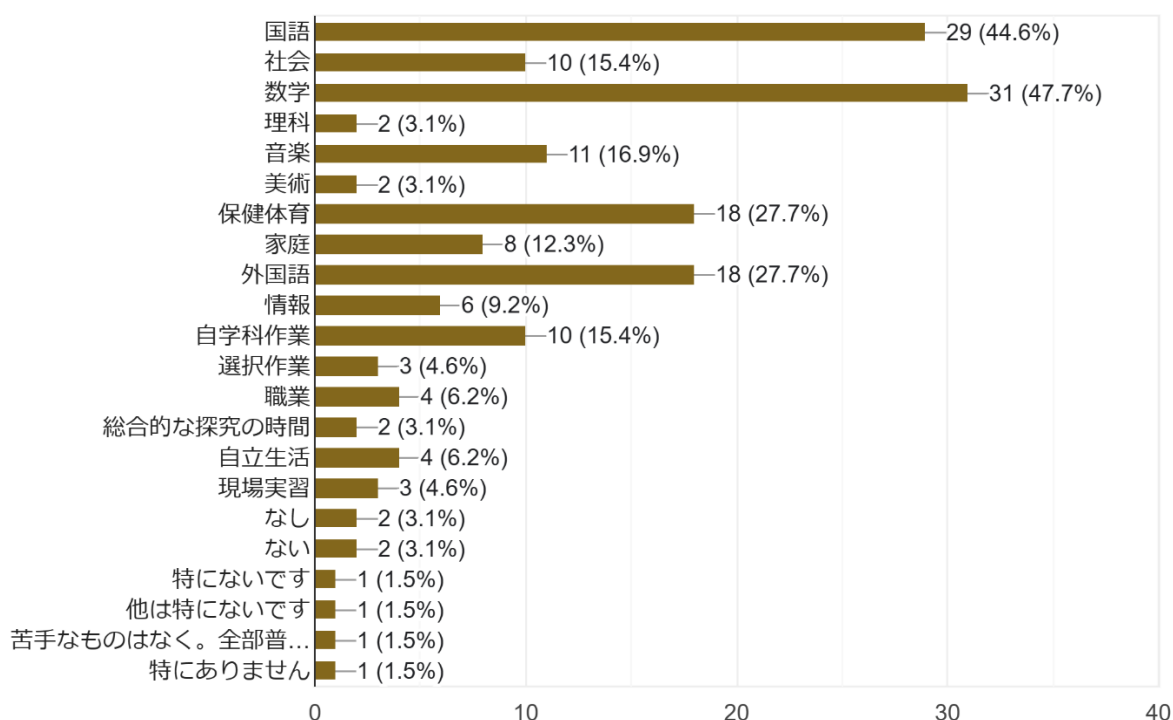


11. 好きな授業を選んだ理由を教えてください。

多くの生徒が選択授業の理由に対してシンプルかつ個々の趣味・関心を表現しています。例えば、「楽しいから」といった理由が頻繁に見られ、授業を通じて楽しさを求めている姿勢がうかがえます。また、美術や音楽に対して多くの生徒が興味を示し、自分の好みや趣味に基づいて受講していることが強調されています。さらに、保健体育に関しては、体を動かすことの楽しさや体力向上に対する関心が多く、回答に表れています。情報技術を選ぶ理由においては、パソコンやプログラミングの楽しさが挙げられ、将来役立つ可能性への期待も見受けられます。家庭科や社会科に対しては、実生活に役立つ知識を得られるとの理由が寄せられ、実践的なスキルを学ぶことへの関心が示されています。数学に関しては、得意分野としての自信が多く、生徒によって表現され、特に好きな先生がいることも授業選択に影響していることがわかります。また、授業がわかりやすいと感じることも多くの学生に共通する理由です。最後に、選択授業においては個性や趣味が大切にされており、それが将来のキャリアやライフスタイルに対してポジティブな影響を与えるとの認識も伺えます。

12. 苦手な授業を3つ選んでください。

65件の回答

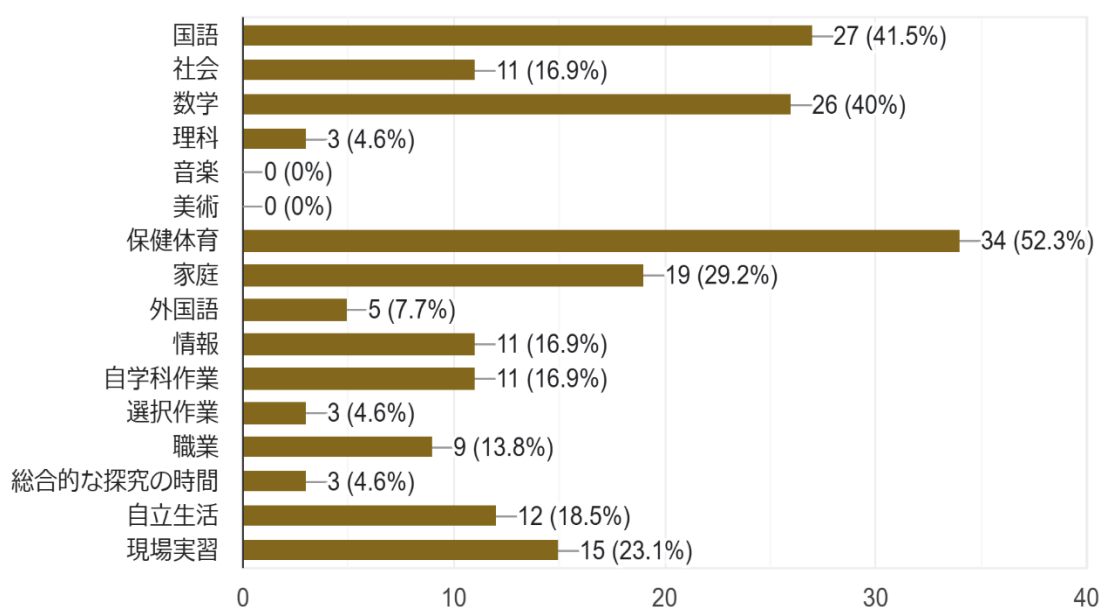


13. 苦手な授業を選んだ理由を教えてください。

この設問では、さまざまな科目に対する苦手意識や難しさについて述べられています。多くの生徒が数学を特に難しいと感じており、計算や問題解決に困難を抱えていることがわかります。国語に関しては、漢字や長文に対する嫌悪感があり、英語や外国語についても単語の理解や発音に苦労していることが挙げられます。また、保健体育では運動や体を動かすことに対する抵抗感があり、特に走ることが苦手な生徒が多い様子です。音楽、美術、情報など他の教科でも苦手意識が見られ、学習へのプレッシャーや先生への不安感が強調されています。そのため、生徒たちは自己評価が低下し、学習意欲に影響を及ぼしていることが示唆されています。

14. 生活の役に立つと思う授業を3つ選んでください。

65件の回答

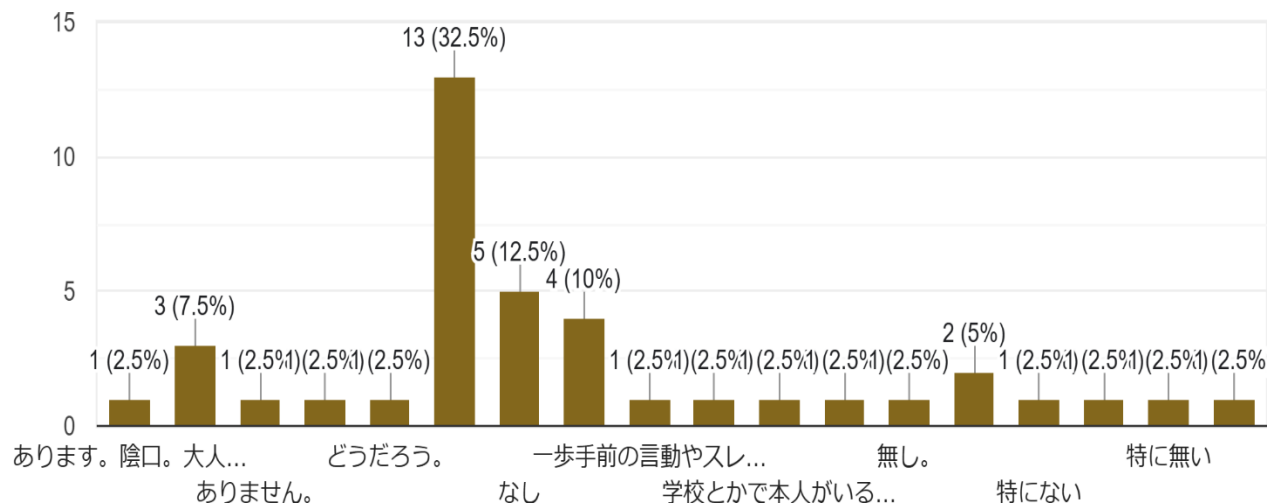


15. どのようなときに役に立つと思いますか。

この設問では、生徒が様々な場面において何が役立つかについて意見を述べた内容が集められています。多くが日常生活や仕事において、特にお金の計算や言葉の使い方などが重要であると考えており、これらのスキルが社会に出た際に困らないために必要だという意見が目立ちます。例えば、家事や運動の能力が自立した生活に貢献することや、現場実習が社会の空気感を掴むのに役立つという声もあります。また、コミュニケーション能力や体力が社会人として生活するうえで重要視され、将来にわたるスキルの強化が求められています。さらに、国語や数学が日常的に使うため、特に働く際や買い物・掃除においての役立ちを挙げる意見が多く、特に数学に関しては計算が必要な場面が特定されています。全体として、社会に出るための準備や自立を見越した教育や経験が重要であるとの認識が示されています。

生徒たちからは、紋別高等養護学校は、明るい雰囲気や優しい先生方に支えられた学校で、特に、先生方が親身になって生徒の話を聞いてくれたり、分かりやすく教えたりすることが好評されています。また、挨拶ができる環境や、元気にお互いを助け合う生徒の姿勢も学校の良さの一部という評価。さらに、就職に特化した教育や健康管理、楽しい授業が進路のサポートにつながる点も評価されています。部活動の充実やおいしい給食も、学校生活をより楽しいものに行っているようです。このように、紋別高等養護学校は生徒一人ひとりが成長できる要素が豊富に揃っています。

改善点を提案するために集められた 41 件の回答がありましたが、多くの意見が「特にない」や「わからない」といった内容でした。その中で、具体的な提案としてインターネットの導入、恋愛禁止、着替える時間の延長、授業のメリハリを保つこと、ルールの明確化、または毎日ジャージ登校にすることなどが挙げられました。また、スマートフォンの利用を許可することや、発言が自由すぎるとの意見も見受けられましたが、全体としては改善策に対する考えが薄い状況でした。



19. 勉強や友達のことでの心配なことや困っていることがあったら教えてください。

多くの生徒は、勉強や友達に関して特に心配や困っていることがないと述べており、いくつかは「ない」や「特に無い」といった肯定的な意見が目立つ一方で、少数の回答者は、勉強が難しい時や授業中の騒がしさが影響していることを報告しています。また、他の回答者は、友達との関係についてあまり関与していないため、具体的な問題を挙げていないことも確認できました。

2 寄宿舎生の評価について

